【資料3】

3計画の施策連携一覧 (R6.11.13時点の3計画の案に基づく資料で作成)

基本方針	項目	教育大綱に記載している取組の方向性	教育プランにおける記載されている具体的な取組内容 ※施策番号は教育プランにおける番号	こどもビジョンにおける具体的な取組内容 ※目標番号はこどもビジョンにおける番号
基本方針1 社会で生きる力を育む教育環境づくりの推進	確かな学力を育成します	○主体的・対話的で深い学びの実現 ○ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実	○ 確かな学力の育成・新しい時代に必要となる資質・能力の育成【施策1】 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	○ こどもの生きる力を育み、自立した若者として未来を選び成長する支援【基本目標Ⅳ】 ・確かな学力を育むため、児童・生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の定着 ・児童・生徒の個に応じた指導の充実 ・外国語教育、情報教育の充実 ・小学校から中学校まで発達段階を通じた体系的かつ系統的なキャリア教育の推進 ・学校教育の始まりである幼児教育環境の充実 ・情報リテラシーの向上 ・消費者教育の推進 ・図書館を活用した調べ学習の取組
	時代の変化に合わせた良好な教育環境づくりを進めます	○ICTの環境整備 ○学校施設や設備の整備	○ 教育の情報化【施策5】 ・ICT環境の整備 ・デジタル教材の充実 ・1人1台端末の効果的な活用 ・ICT支援員による授業支援 ・教員のICT機器活用能力の向上 ○ 学校施設・設備の整備【施策11】 ・普通教室、職員室等へのエアコン整備 ・老朽化施設の計画的な改修・整備 ・教材教具設備・備品の整備 ・ICT環境の整備	○ 地域の子育て力の向上【基本目標Ⅵ】 ・学校施設等の改修・整備・適正配置を計画的に進める
	子どもの意見表明・社会参画を推進します	○子どもの意見表明の機会確保 ○子どもが社会参画できる環境づくり	○ こどもの権利・利益の擁護、人権教育・道徳教育の推進【施策16】 ・学校活動における児童生徒の意見を反映した取組の推進 ・校則見直し、児童会・生徒会活動の充実 ・こどもの意見表明の機会の確保	○ こどもまんなかまちづくりの推進【基本目標Ⅰ】 〈こどもの意見を聴く意識の醸成〉 ・こどもが意見を表明しやすい環境の整備に努める ・こどもの意見の表明を支援する人材の育成に努める ・学校活動における児童生徒の意見を反映した取組を推進 〈こどものまちづくりへの参加〉 ・児童館で、こどもが主体的に企画・運営に参加する取組を推進
基本方針2 健やかな成長を促す環境づくりの推進	子どもの権利が擁護され、理解される環境づくりを進めます	○子どもの権利に関する理解促進 ○いじめの防止や対応の取組充実 ○児童虐待の防止や対策の充実 ○ヤングケアラーの支援充実 ○スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの相談体制の充実	○ こどもの権利・利益の擁護、人権教育・道徳教育の推進【施策16】 ・こどもの権利について学ぶ授業の実施 ・こどもの権利について学ぶ教職員研修の実施 ○ いじめ防止や不登校児童生徒への支援【施策23】 ・人権教育・道徳教育の推進のためのCAP事業*の実施 ・いじめ対応ガイドブック・支援ツール「コンパス」の活用 ・不登校対策「COCOLOプラン」の実践 ・「SOSの出し方に関する教育」の推進 ・Q-Uの実施・活用 ・発達支持的生徒指導の推進	○ こどもまんなかまちづくりの推進【基本目標Ⅰ】 〈こどもの権利の普及啓発〉 ・こどもの権利の普及啓発のため、各種プログラムの実施 ・学校におけるこどもの権利について学ぶ授業の実施 ・教員に向けたこどもの権利に関する研修の実施 〈こどもの権利の侵害に関する相談と救済〉 ・こどもの権利の侵害に関する相談に応じ、必要な助言や支援を実施 ・こどもの権利救済委員会の設置及びこどもの権利調査相談員の配置 ○ すべてのこども・若者と家庭への支援【基本目標Ⅴ】 〈児童虐待の未然防止と対策〉 ・こども家庭センターを設置し、専門職員を配置することにより、相談体制の充実を図る ・要援助家庭を把握し、虐待の発生予防や早期発見に努める ・児童虐待の通告義務の周知啓発 〈困難を抱えるこどもと若者への総合支援〉 ・いじめや不登校のほか、ひきこもりやニートなどの支援推進のため、居場所を拠点とした相談支援体制の充実を図る ・スクールソーシャルワーカーを配置し、学校と家庭の問題に対応 ・ヤングケアラーへの支援について、地域が正しい知識を持ち、早期に発見し、適切な支援につながるよう取組む
	子どものウェルビーイングの向上を推進します	○学校教育活動を通じた子どもたちのウェルビーイングの向上 ○子どもの権利の理解と普及によるウェルビーイングの向上	○ 基本理念 自己肯定感・幸福感の向上や他者を尊重し、協働しながら社会を発展させる資質を育てることがこれまで以上に必要とされており、 ウェルビーイングの向上を目指す ○ 方針4 豊かな心と体の育成 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるようになる 主観的ウェルビーイングの向上が、教育に求められています。	○ こどもまんなかまちづくりの推進【基本目標Ⅰ】 〈こどもの権利の普及啓発〉 ・主観的ウェルビーイングの向上に向けた生徒指導を実施 ・こどもの権利の普及啓発のため、各種プログラムの実施（再掲）
	多様な教育ニーズへの環境づくりを進めます	○不登校児童生徒への支援充実 ○特別支援教育の充実 ○子どもの居場所づくりの充実 ○外国児童生徒への日本語学習支援の取組	○ いじめ防止や不登校児童生徒への支援【施策23】 ・不登校対策「COCOLOプラン」の実践 ・教育支援センター「ふらっとくらぶ」の運営、校内教育支援センターの設置 ○ インクルーシブ教育の充実【施策21】 ・認定こども園・学校・関係機関との連携による教育相談の充実 ・障がいのある児童生徒一人一人の教育ニーズに応じた環境整備 ・医療的ケア児受け入れ体制の充実 ・教育支援員の活用 ・外国人学習指導員の確保 ・通級指導教室の設置 ・特別支援教育に関わる教員等の専門性の向上 ○ 学びのセーフティネットの構築【施策9】 ・教育（スクールソーシャルワーカー）と福祉（家庭生活支援相談員）による連携 ・放課後学習支援、子ども食堂等の児童生徒の学び・生活改善支援	○ こどもの生きる力を育み、自立した若者として未来を選び成長する支援【基本目標Ⅳ】 〈こどもの居場所づくり〉 ・こども・若者の視点に立ち、こどもの声を取り入れた居場所づくりに取組む ・児童館等における様々な体験の機会の提供 ・官民協働で学習支援や食事支援などの取組の推進 ・オンライン等を含むこどもの居場所の充実 ・児童館が、すべてのこどもにとって安全に安心して過ごせる居場所となるため、自己肯定感、自己効力感を醸成できる環境づくりに努める ○ すべてのこども・若者と家庭への支援【基本目標Ⅴ】 〈障がいや発達に配慮が必要なこどもへの支援〉 ・医療的ケア児支援の取組の推進
基本方針3 地域の特色ある教育の推進	子どもが手話を学ぶことを推進します	○手話言語や手話基本条例の学びの推進	○ 多言語教育の充実【施策3】 ・小中学校での手話出前講座の実施	○ こどもの生きる力を育み、自立した若者として未来を選び成長する支援【基本目標Ⅳ】 〈ふるさとへの愛着と豊かな心の育成〉 ・小中学校での手話出前授業の実施
	子どもが市の取組むまちづくりや環境政策などについて学ぶことを推進します	○出前授業による環境教育の推進 ○地域の資源や産業に関する学びの推進	○ 地域特性を活かした環境教育【施策7】 ・脱炭素社会に向けた、再生可能エネルギー（風力、太陽光など）やそれを活用した施設（データセンター、発電所など）を学ぶ環境教育の推進 ・石狩の豊かな自然環境を学ぶ環境教育の推進	○ こどもの生きる力を育み、自立した若者として未来を選び成長する支援【基本目標Ⅳ】 〈ふるさとへの愛着と豊かな心の育成〉 ・こどもが、図書館の司書業務などに継続的に触れる機会の創出 ・読書に親しみ、ものの方、感じ方・考え方を広げ深める活動の充実 ・道徳教育、芸術や文化に触れる機会など、こどもが体験する機会の充実
	子どもがふるさとを学ぶ機会を充実させます	○資料館等を活用した学習活動の推進	○ ふるさとを学ぶ機会の充実【施策27】 ・資料館等を活用した学習活動の推進 ・館ネット（いしかり館ネットワーク）による学習機会の提供	